



港南中便り

第10号

学校公式ホームページ <https://konan-j.esnet.ed.jp/>

祝 アベック優勝 ～ 襷(たすき)に繋ぐ 青春 ～

駅伝は、**日本が発祥の地**で、100年の歴史があります。日本で最初の駅伝は、大正6(1917)年4月27～29日にかけて行われた「東海道駅伝徒歩競走」です。この時「**駅伝**」という言葉が初めて使われました。お正月の風物詩、**箱根駅伝**の第1回は、大正9年2月14～15日に行われました。今では、「**EKIDEN**」として、国際大会も開催されるなど人気スポーツです。

その駅伝(伊予地区駅伝競走大会)が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で12月4日(金)、砥部町の陶街道ゆとり公園で開催されました。港南中駅伝部は、見事、**男女アベック優勝**を達成しました。

< 女子 > 優勝

区間	性別	距離	時間	順位	賞状	通過順位
1区	M	1.7 km	6分09秒	1位	(区間賞)	1位
2区	O	0.85 km	2分56秒	3位		1位
3区	O	0.85 km	3分03秒	2位		2位
4区	H	0.85 km	2分58秒	1位	(区間賞)	1位
5区	A	0.85 km	3分07秒	4位		2位
6区	M	1.7 km	6分08秒	2位	(区間新記録)	1位

24分21秒

1位(8チーム中)

◆□ 思いをのせて襷をつなぐ □◆ 2年 M

今回の伊予地区駅伝大会は、長距離継走大会の悔しさをバネに走ることができたと思います。女子は昨年に引き続き優勝することができてよかったです。襷(たすき)が1区から6区まで引き継がれていく中で、一人一人の思いをのせて走れることは、駅伝の良いところだなと実感しました。また、近くで仲間が応援してくれることで、一人一人が持っている実力以上の力を発揮することができたと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で限られた人しか側で声をかけることはできませんでしたが、改めて応援の力はすごいなと感じました。毎朝一緒に練習に取り組んだ仲間たちの存在が、私たち選手に、優勝という素晴らしい結果へと導いてくれたと感じています。共に練習した仲間感謝の気持ちでいっぱいです。駅伝練習を通して出会った仲間をこれからも大切にしていきます。



< 男子 > 優勝

1区	A	2.	5 km	8分30秒	区間	1位 (区間賞・区間新記録)	
2区	F	1.	7 km	5分42秒	区間	1位 (区間賞)	1位
3区	S	1.	7 km	5分39秒	区間	2位 (区間新記録)	1位
4区	M	1.	7 km	5分53秒	区間	4位	1位
5区	K	1.	7 km	5分47秒	区間	1位 (区間賞)	1位
6区	W	2.	5 km	8分41秒	区間	1位 (区間賞)	1位

40分12秒

1位(8チーム中)

◆ チーム全員の力で優勝 ◆

2年 A

今年、優勝を勝ち獲ることができました。本当にうれしいです。昨年、僕は2区で出場しました。結果は、総合2位。。。優勝を逃してしまいました。その時、来年は、絶対に優勝を勝獲ると決意しました。そして、今年、僕は、1区を任せられました。僕の役割は、なるべく他の選手と差を開けて2区の選手に襷を繋ぐことでした。そうすれば、2区からの仲間が気分的に楽に走ることができるからです。でも、目標としていたタイム以上の差を開けることはできませんでした。だけど、駅伝はチーム競技です。僕の思いを仲間が引継ぎ、激走してくれました。そして、チーム全員の力で優勝することができました。毎朝、厳しい練習を積み重ねてきた仲間と一緒に、襷を繋ぎ、走れてとても楽しかったです。



話し合ってますか?!

~スマートフォン 家庭のルール~

スマートフォン(タブレット)は、非常に便利な道具です。そのスマートフォンを持っている生徒は、年々増えてきています。その便利なスマートフォンは、使い方を誤ると、トラブルを起こしたり、トラブルに巻き込まれたりします。ラインやツイッター、インスタグラムなどのSNSを利用する際には、仕組みをよく理解して、アカウントの管理には十分に気を付ける必要があります。

- 「自分の投稿を非公開にする(通称「鍵をかける」)」設定をしていないアカウントは、検索機能などで、誰でも投稿を見られる。
- 鍵をかけていても、自分をフォローしている人には情報が見られるため、自分をフォローしている人を介して、見知らぬ人からメッセージが送られることもある。

本校でも、①そのつもりがないのに自分が誰かを攻撃してしまう。②知らないうちに、自分や他人の個人情報を流出させてしまう。③見境なくスマホに時間を使い「生活習慣」が崩れてしまう。などの問題が起こっています。

お子さんが楽しみにしている冬休み(自由な時間が多い期間)がやってきます。是非、この機会に、次のことを参考に家庭のルールを話し合ってみませんか?

- ① 発信する前にもう一度考えることが大切。(発信には責任がともなう自覚)
- ② 「仲間だけとの交流」と思っているけどネットは誰が見ているか分からない。
- ③ 気軽な感想が悪口になる場合もある。(メールは気持ちが伝わりにくい)
- ④ SNSに載せている画像を無断で転送しない。画像は回さない。